

当社グループにおけるホテル運営会社の再編について

当社は、2024年10月1日（予定）に、当社が100%出資するホテル運営子会社4社（JR九州ホテルマネジメント㈱、JR九州ホテルズ㈱、JR九州ハウステンボスホテル㈱、JR九州ステーションホテル小倉㈱）の合併による会社再編を行うこととしましたので、下記の通りお知らせします。

記

1 会社再編の目的

本再編を契機に、合併新会社は、宿泊主体型ホテル、フルサービスホテル、さらには旅館と、様々な形態やブランドの施設を運営する総合的なホテル運営会社となります。

また、再編にあわせて人事・賃金制度の見直しを行い、より一層働きがいがあり、働きやすい会社を目指すとともに、各社のリソースやノウハウを結集して経営基盤の強靱化を図り、施設運営力をさらに磨いてまいります。

引き続き、地域に根差しながら魅力的な施設づくりに努め、「従業員、お客さま、外部パートナーから選ばれるホテル」を目指します。

<取り組む事項・目指す方向性>

人事・賃金制度を見直し、従業員の「働きがい」と「働きやすさ」にコミットする会社へ

- 賃金水準の引き上げ（約9%^{※1}）による待遇改善
- 多様なキャリアパスの提供（高い専門性を有する人材確保に向けたスペシャリスト職の新設等）
- 役割や貢献に応じた透明性の高い評価制度の導入

スケールメリットを活かした戦略推進によるオペレーション力の強化

- 一括採用や体系的な研修制度の確立等による人材マネジメントの強化
- 資材や食材等の一括調達の推進
- その他共通業務の集約による効率化及び高度化

総合的なプロパティ運営力を強みとして、成長するホテルオペレーターへ

- 運営実績を積み上げ、将来的には外部案件（グループ外からの賃借及び運営受託）の利益シェア50%超を目指す^{※2}

※1 生涯賃金ベースによるモデルケース比較

※2 所有経営と外部案件の利益シェアイメージ

所有直営と外部案件の利益シェアイメージ



2 会社再編の概要

(1) 会社再編スキーム

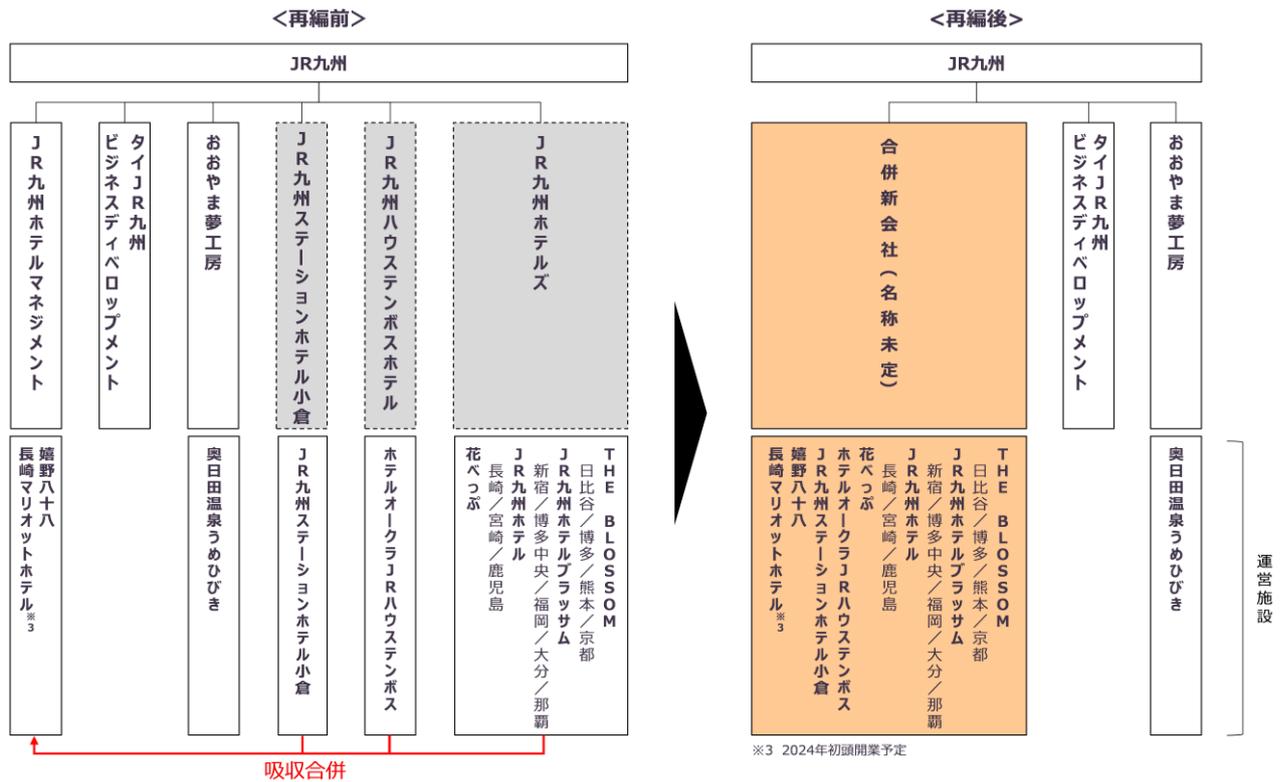
JR九州ホテルマネジメント(株)を存続会社として、JR九州ホテルズ(株)、JR九州ハウステンボスホテル(株)、JR九州ステーションホテル小倉(株)を吸収合併します。

(2) 効力発生日

2024年10月1日(予定)

(3) 存続会社が承継する権利義務

存続会社のJR九州ホテルマネジメント(株)は、JR九州ホテルズ(株)、JR九州ハウステンボスホテル(株)、JR九州ステーションホテル小倉(株)がそれぞれ有する権利義務の全てを承継します。



3 合併新会社の概要(予定)

名称	未定
所在地	福岡県福岡市
代表者	未定
事業内容	ホテル、旅館の経営及び運営管理
株主	九州旅客鉄道(株)100%
資本金	100百万円

4 再編各社の概要

社名	JR九州ホテルマネジメント(株)	JR九州ホテルズ(株)	JR九州ハウステンボスホテル(株)	JR九州ステーションホテル小倉(株)
所在地	福岡県福岡市	福岡県福岡市	長崎県佐世保市	福岡県北九州市
設立年月日	2023年1月23日	1999年4月26日	1990年8月30日	2018年12月26日
代表者	浜田 真知子	角谷 英彦	岩崎 正俊	野栄 明文
株主	九州旅客鉄道(株) 100%	九州旅客鉄道(株) 100%	九州旅客鉄道(株) 100%	九州旅客鉄道(株) 100%
資本金	100百万円	100百万円	100百万円	100百万円
運営施設数 ^{※5}	2	13	1	1
従業員数 ^{※6}	正社員：130名 P A：60名	正社員：250名 P A：131名	正社員：196名 P A：134名	正社員：74名 P A：68名

※5 JR九州ホテルマネジメント(株)は、2024年初頭に開業予定の長崎マリオットホテルを含む

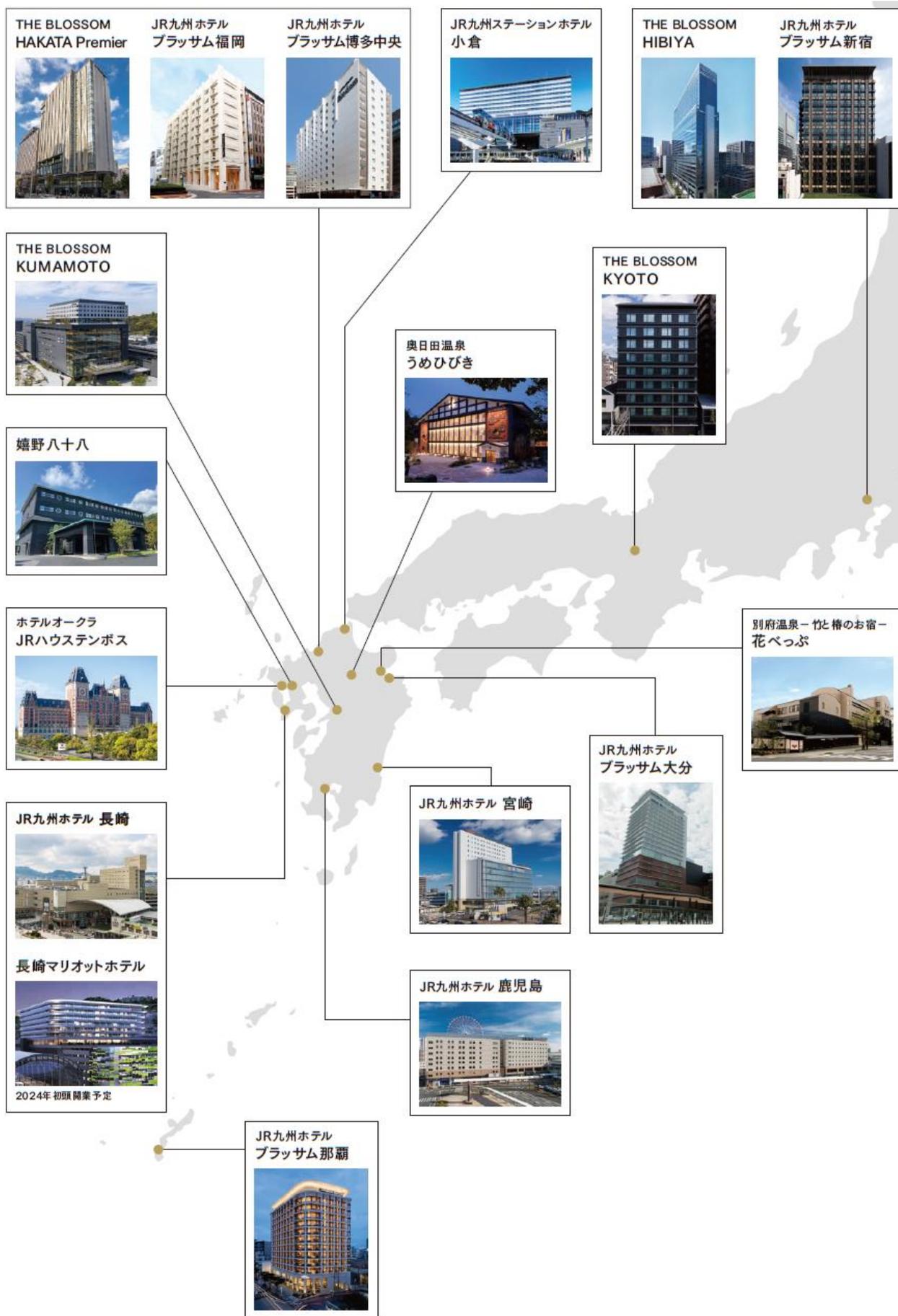
※6 2023年4月1日時点。ただし、JR九州ホテルマネジメント(株)は、長崎マリオットホテル開業後の計画値

5 当期以降の業績に与える影響

本再編が当社の連結業績に与える影響は軽微です。

以上

【参考】JR九州グループにおける国内運営ホテル・旅館



(奥日田温泉うめひびきについては、引き続き株式会社おおよま夢工房が運営を行います。)